

令和元年12月9日付【水道産業新聞】
九州支部 研修講演会開き意見交換
＜効率的事業運営などテーマに＞



有吉理事

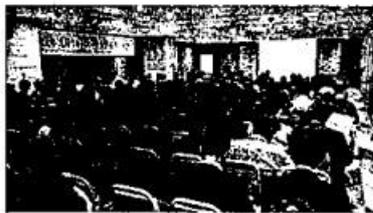


井上会長

九州ウォータークラブ
は11月27日、日本水道協

効率的な事業運営などテーマに

九州W.C. 研修講演会開き意見交換



150人参加で満場となった講演会

九州地方支部、全国上下水道コンサルタント協会の共催で令和元年度研修講演会を行い、関係者約150人が集まるな

か、効率的な事業運営や施設更新の促進など水道事業を巡る事例について意見交換を行った。

冒頭、井上隆治・会長は「水道は災害対応など喫緊の課題がある一方、厳しい経営環境にある。人材育成の重要性を痛感する。当講演会の諸事例をもとに考えていただければと思う」とあいさつ。

日本協九州地方支部からは有吉知美・福岡市水道局理事が「水道事業は諸課題が山積する。本日のいずれの講演内容も課題解決に向けた参考にな

る」と述べた。

講演は最初に岡本繁昭・唐津市水道局水道工務課給配水係長が「効率的な事業運営への取り組み」をテーマに、平成17～18年に1市6町2村が合併し、8年を費やして水道統合整備事業を実施した経緯を説明。現在、施設の統廃合を進め、ダウンサイジングや災害対策、水源の二重化などを進める現状を紹介した。

続いて木村康則・日本ダクタイル鉄管協会関東支部長が「管路更新を促進するための取り組み」

を議題に、同協会が委員を務める「管路更新を促進する工事イノベーション研究会」の概要を紹介。さらに技術職員の確保が困難な状況から小規模DB方式の考え方、コンセプトについて語った。

最後に小島克生・日本水道事業部顧問が「振り返りと水平展開」と題し、個人的な自己管理のために記録した振り返りノートについて、その重要性を語るとともに、名古屋市水道事業に携わっていた頃のエピソードなどを披露した。